



2024-2025 RI District 2800 ロータリーにもっと誇りをそして学び DEI の心を持って行動実践しよう
鶴岡西ロータリークラブ「ロータリーの誇りを胸に いろいろやってみよう」
活動スローガン

活動報告：第2672回例会 2024年10月7日（月）会場：グランドエル・サン



ゲストスピーチ



米山奨学生 楊 思祺君

米山奨学生で、現在は大学院に進んで専門分野を学ぶ
楊思祺君よりスピーチをいただきました。
これからも頑張ってください！

海岸清掃 10月6日実施



会長挨拶

会長 佐藤正晴君

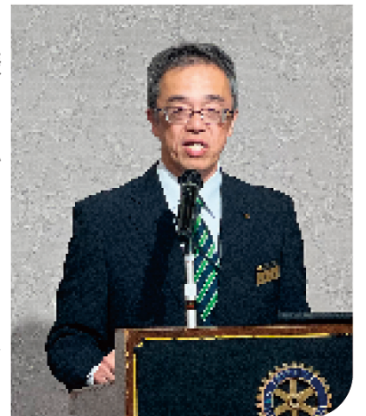
昨日行われました、海岸清掃にご参加いただいた皆様 お疲れ様でした。ということで今日はごみ拾いについてお話ししようと思います。ネットで「ごみ拾い」で検索すると、様々な記事が出てきますが、その中から、何点か目に付いたものをご紹介します。

まずは、渡部芳幸会長の際に IM でも取り上げた「海洋汚染」「マイクロプラスチック」です。海岸でごみ拾いをすることで、現在既に汚染されていると言われる海で「マイクロプラスチックは、海の生物が餌と見誤って食べてしまったり、食物連鎖で最終的にその魚を食べた人間の体内でも確認されたりなど、大きな問題となっていること」を再認識し、これから自分達の行動に反映させることになると思います。

続いては、「日本人とごみ拾い」です。ちょっと前になりますが、サッカーワールドカップの試合終了後に日本人サポーターが率先してごみ拾いを行い、話題になりました。2018 大会から話題になり、2022 大会では他の国も方々にも広まったとのことでした。ある社会学者さんは、「日本人にとって片付けや整理整頓は、自分たちの生き方をいかに誇らしく思っているか、示す方法」とお話しになったそうです。また、実際に活動されていたサポーターの人にお話を聞くと、「使う前より使った後を綺麗にすること。それは当たり前。いつも感謝の気持ちを持つこと」とお話しされたそう

です。日々の生活でこの気持ちを持って過ごせるように心がけたいところです。また、昨日より始まったMLB地区シリーズに出場している、今年大活躍の大谷選手にもごみ拾いにまつわるお話しがあります。彼は、バッターとして打席に入る時やランナーとして塁に出たときに、グラウンドに落ちているゴミをさりげなく拾うことがあります。彼はグラウンドにゴミが落ちているのに気が付くと、意識して拾うようにしているのだそうです。そもそもごみ拾いを始めたきっかけは、日本ハムファイターズ時代の先輩 稲葉篤紀選手が自ら進んでごみを拾っている姿に感動してまねをすることにしたんだそうです。そしてその理由を聞かれた大谷選手は、「きれいなグラウンドで試合をしたいから」とか「ゴミが落ちていると試合の邪魔になるから…」ではなく、「人が捨てた”幸運”を拾っている」と答えたそうです。彼の活躍はもちろん才能や大変な努力によるものと思いますが、この幸運も少し影響しているかもしれません。

昨日活動に参加された皆様 大分幸運がたまってますので、今日はいいことあるかもしれませんね。これからも、幸運を捨てることなく率先して拾うようにしようかなと思った今日この頃でした。



幹事報告 辻博智君

- チャリティーコンペ案内
ニューブラッサムガーデン
24年11月4日(日)
- 地区大会申込依頼
長井市民文化会館 ホール
24年11月10日(日)



誕生日

木村有為君

- 池田徳博君** ・楊さん、グラハム君ようこそ。ロータリーで楽しい時間を過ごして下さい。
- 佐藤正晴会長** ・楊さんありがとうございました。グラハム君昨日はお疲れ様でした。悦子さん昨日は残念でした、辻さんおめでとうございます。
- 木村有為君** 誕生日いただきましたのでスマイルさせていただきます。
- 渡部吉春君** ・今日はヨウシキさんスピーチありがとうございました。日本語半年前より上手です。グラハム君も日本語上手になりましたね。昨日は海岸清掃行けなくて申し訳ありませんでした。

本日の出席 前々回出席	会員数 34名	出席数 18名 修正出席数 21名	出席率 52.94% 出席率 56.67%	確定出席率 70.00%
----------------	---------	----------------------	--------------------------	--------------

